

# 平成27年度 事業報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

## 【基本方針】

森林・緑の持つ多様な機能を持続的に発揮させるために県内においても県民やボランティア団体、事業者などの民間団体等を中心に緑化活動や森林づくりなどの自発的な活動への関心が高まっている。

このため、平成27年度事業においては、県民の緑化活動への理解を深めるため、イベント、パンフレット、ラジオ、新聞による普及啓発に努めた。

また、県をはじめとする関係機関や団体と連携をとりながら森林ボランティア活動を支援し、県民協働のもとに広葉樹を中心とする山間地の森林づくりや、平坦地の緑化を推進した。

緑の募金運動の展開に当たっては、市町緑化推進協議会と連携を図り、県民を始め森林ボランティア団体、緑の少年団等広範な県民の協力を得ながら多様な募金活動を展開した。

## 【会議等】

### 1 理事会

#### (1) 第1回通常理事会

平成27年5月20日（水）佐賀県庁新行政棟61号会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 議 題

第1号議案 さが緑の基金助成事業実施規程の一部改正について

第2号議案 平成26年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属明細書を含む）について

第3号議案 平成27年度定時評議員会の招集及び提出議題について

#### 報告事項

① 役員の職務の執行状況について

#### (2) 第2回通常理事会

平成28年2月17日（水）佐賀県庁新行政棟81号会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 議 題

第1号議案 さが緑の基金助成事業実施規程の一部改正について

第2号議案 平成27年度収支補正予算について

第3号議案 平成28年度事業計画及び平成28年度収支予算について  
報告事項

① 役員の職務執行状況について

(3) 臨時理事会（書面による決議）

通常理事会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び定款第39条第2項の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、理事全員の同意及び監事全員の確認を得て承認された。

① 平成27年4月14日（火）

評議員会の招集及び決議事項（理事1名選任）に関する件  
さが緑の募金運営協議会委員1名の選任に関する件

② 平成27年6月4日（木）

平成27年度定時評議員会における追加議案に関する件

③ 平成27年6月8日（月）

理事長選定に関する件

④ 平成27年7月30日（木）

評議員会の招集及び決議事項（監事1名選任）に関する件  
さが緑の募金運営協議会委員1名の選任に関する件

⑤ 平成27年8月27日（木）

評議員会の招集及び決議事項（理事1名選任）に関する件

⑥ 平成28年3月11日（金）

さが緑の募金運営協議会委員11名の改選に関する件

2 評議員会

(1) 定時評議員会

平成27年6月8日（月）佐賀県庁新行政棟特別会議室Aにおいて開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項

第1号議案 平成26年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録  
（これらの関連附属書類を含む）について

第2号議案 理事の選任について

報告事項

① 平成26年度事業報告について

② 平成27年度事業計画及び収支予算について

(2) 臨時評議員会（書面による決議）

定時評議員会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条及

び定款第 23 条の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、評議員全員の同意を得て承認された。

- ① 平成 27 年 4 月 24 日（金）  
理事 1 名の選任に関する件
- ② 平成 27 年 8 月 17 日（月）  
監事 1 名の選任に関する件
- ③ 平成 27 年 9 月 9 日（水）  
理事 1 名の選任に関する件

### 3 緑の募金運営協議会

#### (1) 第 1 回運営協議会

平成 27 年 7 月 16 日（木）佐賀県庁新行政棟 61 号会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項 運営協議会委員長の選出について

報告事項

- ① 平成 26 年度緑の募金事業報告及び収支決算について
- ② 平成 26 年度緑の基金助成事業実地検査の結果について

審査案件

平成 27 年度緑の募金助成事業及び提案公募型緑づくり活動支援事業の採択について

#### (2) 第 2 回運営協議会

平成 27 年 10 月 23 日（金）自治会館大会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

審査案件

平成 27 年度提案公募型緑づくり活動支援事業の採択について

#### (3) 第 3 回運営協議会

平成 28 年 1 月 27 日（水）自治会館中会議室 A において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

議 題

- ① さが緑の基金助成事業実施規程の一部改正について
- ② さが緑の基金助成事業実施要領の一部改正について
- ③ 平成 27 年度緑の募金事業収支補正予算について
- ④ 平成 28 年度緑の募金事業計画及び収支予算について

## 【 公益事業 1（一般事業） 】

一般事業では、基本財産の運用収入、（公社）国土緑化推進機構等の助成金及び受取寄附金（緑化普及積立資産）等を財源として、以下の主要な事業を実施した。

### 1 緑の普及啓発事業 [決算額 10,068 千円]

#### (1) 普及啓発 [決算額 8,369 千円]

- ① 県民の緑化意識の高揚と県民参加の緑化運動を推進するため、ラジオ、新聞による情報発信を行った。緑あふれた地域づくりの気運の醸成を図るため、苗木などの普及資材を配布するとともに、緑化関係行事等に参加した。
- ② 森林・緑に対する理解を深めるとともに緑化意識の高揚を図るため、学校関係者及び市町教育委員会などの協力を得て、（公社）国土緑化推進機構と連携し小・中学校、高等学校の児童、生徒や一般県民を対象に標語の募集を行い優秀者には知事賞を授与するとともに、当法人のホームページで公表し意識の高揚に努めた。また、優秀作品は国土緑化運動の審査会に推薦した。
- ③ 県民が緑とふれあい、うるおいと安らぎのある緑豊かな環境を促進するため、県民から寄せられた様々な相談に応ずるとともに、植樹活動に対する助言・指導を行った。
- ④ 県内の小・中学校等からの要請を受け、学校や脊振山などの現地や林業試験場内で森林環境教育を行った。
- ⑤ 県内の森林ボランティア活動に必要な作業用具の維持管理、用具の貸出及び使用方法などの指導を行った。
- ⑥ 森の名手・名人100人の推薦、認定書の伝達

（公社）国土緑化推進機構が行う「もりの国・日本運動」の「森の名手・名人」の森づくり部門として「今泉 誠一郎(有田町)」を、森の伝承・文化部門として「小森 恵吾(鹿島市)」及び「中原 晋(鹿島市)」をそれぞれ推薦し、選定されことから認定書の伝達を行った。

#### ○ 参加した主な緑化関係行事等

行 事 名	実施年月日	開催場所
第66回全国植樹祭	平成27年5月17日	石川県小松市 (木場潟公園)
全国緑の少年団活動発表大会	平成27年10月10日	岐阜県池田町 (池田町中央公民館)

第39回全国育樹祭	平成27年10月11日	岐阜県揖斐川町 (谷汲緑地公園)
九州北部三県みんなの 森林づくり	平成27年11月8日	長崎市神浦北大中尾町 (長崎県民の森)

(2) 新1年生記念樹配布 [決算額 276 千円]

新しく新1年生として入学する子供たちに、緑を育み大切にすることを育てるため、市町教育委員会と連携し、県下の小学校や特別支援学校等のうち希望する学校60校にヤマザクラやコブシなど15種95本の記念樹を配布した。

(3) よかウッドフェスタ及び緑化祭 [決算額 1,423 千円]

森林・緑は県民共通の財産として社会全体で守り育て、未来に引き継いでいくという意識を醸成し、県民協働による豊かな広葉樹の森林づくりを進めるため、前年度に引き続き、木材や木工工作などとのふれあいや森林づくりの体験活動を通じて、県産木材の良さやその利用の意義についての理解の推進や、かけがえのない財産である森林・緑を県民みんなの財産として社会全体で守り育て、未来に引き継ぐという意識の醸成を図ることを目的に、佐賀県との共催により「どん<sup>3</sup>の森・アバンセ」を会場に「よかウッドフェスタ及び緑化祭」を平成27年11月1日(日)に開催した。

主な開催行事として、

- ・ 緑化功労者(団体、個人)、優良緑の少年団及び緑の募金高額寄付団体の表彰並びに森の名手・名人認定証の伝達
- ・ 緑の少年団86名によるヤマザクラ5本及びシモツケ66株の植樹や緑の少年団活動発表大会
- ・ 併催イベントとして、地元の郷土芸能の披露・餅投げ、チェーンソーアートや木の実工作やふれあい木工工作などの森に関係した多彩な催し及び緑化相談会

などを行い、約2千人の参加者に森の恵みを活用したイベントで楽しんでもらうとともに緑化の推進を図った。

2 提案公募型緑づくり活動支援事業 [決算額 4,190 千円]

CSO等から企画提案された特色ある森林づくり(地域に密着した様々な夢のある森林づくり等)や平坦地の緑化事業、県産材の利用促進事業など企画提案された8事業を採択支援した。

- ・ 里山や平坦地に広葉樹等を植栽し、潤いのある景観づくりなどを旨とする

伊万里市浦川内地区ほか2市2町5地区の住民等の取組

- ・ 県産間伐材を利用した浮き子を作成し、県内各地の宿泊施設に無償配布を行い毎週木曜日にヒノキ風呂を仕立てることにより、来訪客に木の良さを実感して貰う取組
  - ・ 木の実の工作等を通じて子供たちが森林と触れ合う機会を提供する取組
  - ・ 21世紀県民の森内の森林学習館に木の实ポストと種散布方法等を説明したパネル等を設置し、子供たちが木の实や森林のことを楽しく学ぶコーナーを設置するとともに、富士町内の耕作放棄地にドングリの苗木270本を植樹し、ドングリ拾い等が出来るドングリ教育園を設置する取組
- など魅力ある地域作りに取り組む8団体に助成することにより緑化の推進を図った。

### 3 緑と水の森林基金助成事業 [決算額 633 千円]

#### (1) 緑の探検学習会及び緑の少年団活動発表大会 [決算額 605 千円]

緑の少年団の自主性・協調性を養うとともに、自然や緑の大切さを理解し、環境美化や緑化活動に積極的に参加する心を培うため、自然豊かな佐賀市富士町の北山東部小学校において「緑の少年団探検学習会」及び「緑の少年団活動発表大会」を開催した。

#### ○ 緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会

日 時：平成27年8月5日（木）

会 場：佐賀市立北山東部小学校

参加者：緑の少年団、指導者等 229名

行 事：活動発表大会(地区代表3団体)最優秀賞1団体、優秀賞1団体

講 話：「佐賀の希少動物を守ろう」（県有明海再生・自然環境課職員）

その他：五感を使った葉っぱ体験、草花を使った万華鏡づくり

#### (2) ふるさと記念の森管理事業 [決算額 28 千円]

21世紀県民の森に県にゆかりのある人々や一般県民が植樹した「ふるさと記念の森」の管理の一環として記念樹の枯れ木等の調査を行った。

### 4 国土緑化推進機構受託事業 [決算額 29 千円]

国土緑化推進機構からの受託事業として、森の名手・名人及び公募事業などの募集・推薦を行うほか、学校環境緑化モデル事業実施に対する指導や森林ボランティア団体等へのアンケート調査などを実施した。

### 5 事業推進事務費 [決算額 2,370 千円]

## 【公益事業2（緑の募金事業）】

県民総参加による「緑の募金」運動を展開し、市町緑化推進協議会、ボランティア団体、緑の少年団等の協力により家庭募金、企業募金、学校募金、街頭募金を実施した。募金目標額は60,000,000円としたところであるが、家庭募金や企業募金などで目標額を下回ったことから目標額は達成することが出来なかった

- 募金実績額：57,850,202円（約2,150千円3.6%の減）
- 運動期間 春：平成27年3月1日～ 5月31日  
秋：平成27年9月1日～10月31日

### 1 緑の少年団等育成事業 [決算額 4,215 千円]

#### (1) 活動・交流支援 [決算額 3,915 千円]

緑を守り育てる心を養うことを目的に、年間を通じて様々な緑化活動を行っている緑の少年団47団に対し、日常の活動費や緑の少年団制服の購入への助成を行なった。

また、県内3地区で地域住民や子供達の交流を促進し、地域の特性を生かした多様な緑化活動を行った。

##### ① 佐賀中部・鳥栖地区

期 日：2月28日

実施場所：佐賀市富士町 北山少年自然の家

参加者：96名

行事内容：広葉樹や針葉樹など様々な種類の丸太切り体験や竹パン作り体験を行うことにより、鋸の使い方、木の堅さ、感触、ニオイ等それぞれの木の特徴を学び、また薪による火起こしを体感するとともに、森のフォトフレームづくりを通し地区内の少年団相互の交流を図った。

##### ② 武雄・鹿島地区

期 日：11月29日

実施場所：嬉野市 みゆき公園

参加者：98名

行事内容：広葉樹や針葉樹16種類の丸太切りを体験により、鋸の使い方、木ごとに異なる年輪や感触・ニオイなどの特徴を学ぶとともに、ウッドクラフト体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

##### ③ 唐津・伊万里地区

期 日：12月13日

実施場所：唐津市 虹の松原

参加者：86名

行事内容：虹の松原の歴史と人の暮らしの変化が与える影響や保全活動の取り組み内容についての学習を行った後に、松葉掻き作業体験と15種類の丸太切り体験により地区内の少年団相互の交流を図った。

(2) 佐賀県緑の少年団連絡協議会助成 [決算額 300 千円]

県内の緑の少年団の育成及び交流事業や7月に開催した少年団指導者の研修事業等に要する運営活動経費を助成し県内の緑の少年団の健全な育成、強化及び指導者の育成を図った。

2 緑化ボランティアの育成事業 [決算額 554 千円]

(1) 森林づくりボランティア団体等育成活動支援 [決算額 523 千円]

① 近年、活動が活発になってきた「森林づくりボランティア」は、県内27団体が登録しており、このうち申請のあった7団体の活動に要する経費に助成した。

② 森林ボランティア団体の育成、活動を広げるために、森林ボランティアリーダーを育成する研修を実施した。

期 日：3月19日

場 所：佐賀市富士町 フォレストふじ

参加者：親林交流指導員、ボランティアリーダー及び一般参加者58名

内 容：竹の有効活用をテーマに侵入竹の効率的且つ安全な伐採方法や目的に合わせた炭焼きの方法などのほか、竹チップ化による農業等への有効活用策を学習するとともに、伐採現地でも活用出来る炭化器による実演を行った。

講 師：株式会社炭化 代表取締役社長 入江 康雄

NPO法人かいろう基山 事務局長 松原 幸孝

(2) 親林交流指導員の派遣 [決算額 31 千円]

学校や公民館等で開催される環境教育、自然観察会など要請のあった学校、地域の振興会等7団体の8件の派遣要請に対し基金に登録している親林交流指導員延べ10名を派遣し緑化の普及を図った。

このうち、2団体2件について、講師謝金等を基金が負担した。

対 象：中学校、地域振興会など 7団体

対象者：小中学生・保護者、一般県民など 延べ176名

3 こだまの森林・緑づくり事業 [決算額 10,577 千円]

(1) 緑の県土づくり活動支援 [決算額 6,347 千円]

① 地域のボランティアを中心に、広く参加者を募るなどして行う「シン



ボルの森、水源の森、海の森」などの森林づくりを行った5協議会11団体、また平坦地、里山などにおける緑づくり（植栽、下刈り、間伐）を行い地域の環境整備を行った6協議会9団体に対し助成することにより緑化の促進を図った。

- ② 県各地域で活動している「緑化・美化ボランティア」の登録団体(117団体)のうち申請のあった6市26団体に対し、苗木等の資材購入費を助成することにより緑化の促進を図った。(1団体20千円以内)

(2) 民間団体等の緑化支援 [決算額 4,030 千円]

嘉瀬川ダム上流部の荒廃した里山で除伐やヤマザクラなど9種95本の植樹を行い地域内の景観と憩いの場づくりを行った中原自治会、地域内の荒廃した里山で除伐や遊歩道づくり及びイロハモミジ等の広葉樹440本の植樹を行い地域の憩いの場づくりを行った笹原憩いの場を作る会(巖木町)、並びに有田焼創業400年祭を記念し、有田町陶山神社周辺にイロハモミジ、アラカシ400本を植樹した一般社団法人佐賀県造園建設業協会の取組に助成することにより緑化の促進を図った。

(3) 国際緑化 [決算額 200 千円]

オイスカ佐賀県推進協議会が広大な禿げ山が広がるフィリピン・ヌエバビスカヤ地区の植林プロジェクトの一環として、アカシア・マンギウムなど3種714本を植樹し現地の緑化促進に寄与した事業に対し、助成を行うことにより国際緑化の促進を図った。

4 市町緑化の推進事業 [決算額 30,677 千円]

- ① 市町推進協議会がイベント等を通じて行った募金活動や植樹祭、各種行事での苗木等の配布や、ポスター、チラシ等普及啓発事業に助成を行うことにより緑化の促進を図った。
- ② 県内16市町の市町推進協議会や自治会等が行った地域の公園、街路、学校、公民館、社会福祉施設等公共的施設などの地域の緑化に対し助成を行うとともに県内の名木、古木の治療を行い保存維持に努めた事業に対し助成することにより緑化の促進を図った。

5 募金活動の推進事業 [決算額 5,500 千円]

緑の募金の周知徹底を図るため、新聞広告やラジオ、テレビによる広報活動を行うとともに、ポスター、チラシの作成・配布等による普及啓発活動を行った。

また、官庁、企業等で職場募金として行う募金活動に必要な資材を購入し

募金の拡大に努めた。

6 国土緑化推進機構交付金 [決算額 2,227 千円]

全国的な見地から行う森林の整備、緑化の推進及びこれらに係る国際協力並びに東日本大震災復興のための緑化事業を進めるため、(公社)国土緑化推進機構に対し、募金額に応じて交付した。

交付金=定額割額(500 千円)+定率割額(当該年(暦年)の募金実績(千円)×3%)

7 事業推進事務費 [決算額 5,804 千円]